

# 皆野・長瀨ロータリークラブ

週報

◇例会日 第1・第2木曜日 12:30~13:30 第3・第4木曜日のいずれか 18:30~19:30  
 ◇例会場 長瀨レクリエーションホテル 養浩亭  
 ◇事務所 〒369-1305 秩父郡長瀨町長瀨1446 養浩亭内  
 Tel:0494-66-4134 / Fax:0494-66-4134 e-mail:minanaga@chichibu.ne.jp



イマジン  
ロータリー

## IMAGINE ROTARY

### 第1599回例会 令和4年11月10日(木)

#### 【会長の時間】

畝 徳治

皆さん、こんにちは。月初めは渋沢栄一さんの本からロータリー的な部分だなどという所を紹介いたします。内容的には渋沢さんの話は難しいですが、賛同したりするので、紹介させていただきます。



タイトルは「正につき邪に遠ざかるの道」です。正は正義で、邪は悪い奉公から遠ざかり、正義に近づいて行くにはどうしたらいいかという内容です。

およそ事物に対し「かくせよ」「かくするな」というがごとき正邪曲直の明瞭なる者は、ただちに常識的判断を下し得るが、場合によってはそれも出来かねることがある。例えば、道理を楯にして言葉巧みに勧められでもすると、思わず知らず、平生自己の主義主張とする所よりも、反対の方向に踏み入らざるを得ないようになって行くものである。かくのごとき、無意識の中に自己の本心を滅却されてしまうこととなるのであるが、左様の場合に際会しても、頭脳を冷静にしてどこまでも自己を忘れぬように注意することが、意志の鍛錬の要務である。もし、そういう場合に遭遇したなら、先方の言葉に対し、常識に訴えて自問自答してみるが宜い。その結果、先方の言葉に従えば、一時は利益に向かい得らるるが、後日に不利益が起こって来るとか、あるいはこの事柄に対してこう処断すれば、目前は不利でも将来のためになるとか、明瞭に意識されるものである。もし目前の出来事に対し、かくのごとき自省ができたならば、自己の本心に立ち帰るは頗る容易なることで、したがって、正につき邪に遠ざかることができる。余はかくのごとき手段方法が、すなわち意志の鍛錬であると思うのである。

かく論じれば、意思の鍛錬には常識が必要であるということになって来るが、やはりその根本は孝悌忠信の思想に拠らなければならぬ。忠と孝とこの二者より組み立てたる意思をもって、何事も順序よく進ませるようにし、また何事によらず、沈思黙考して決断するならば、意

思の鍛錬において間然する所はないと信ずる。しかしながら、事件は沈思黙考の余地ある場合にのみ起こるものでない。唐突に湧起したり、さなくとも人と接した場合などに、その場で何とか応答の辞を吐かねばならぬことが、いくらでもある。そういう機会にはあまり熟慮している時間がないから、即座に機宜を得た答えをしなければならぬが、平素、鍛錬を怠った者には、その場に適当な決定をすることが一寸できにくい。したがって、勢い本心に反したような結末を見なければならぬ。

ゆえに、何事も平素においてよく鍛錬を重ねるならば、遂にはそれがその人の習慣性となりて、何事に対しても動ずる色なきを得るに至るのであろう。

常識をしっかり持てば、常識とは何かと言った時に孝悌忠信、何が正義か。そこに従っているいろいろ考える癖を付ければ良いのではないかと言っています。

#### 【幹事報告】

山田 利明

1. 地区事務所より
  - ①ポリオ根絶への支援お礼
  - ②手続要覧について
  - ③書面採択結果報告
  - ④手続要覧分譲の案内
  - ⑤地区ホームページ公開の案内
  - ⑥多文化交流推進シンポジウムについて



2. バギオ基金よりバギオだより  
《理事役員会報告》

11月	3	木	休会	
	10	木	通常例会	理事役員会
	17	木	親睦例会	養浩亭
	24	木	通常例会	米山奨学生卓話
12月	1	木	クラブ総会	理事役員会
	8	木	通常例会	
	15	木	休会	
	22	木	親睦例会	養浩亭
	29	木	休会	

### 出席率

免除以外の 会員	出席免除 会員	出席	メイク	出席率
9	0	3	0	33.3%



### 四つのテスト

高田 富康会員

紅葉がきれいな時期です。私は奥只見の方に行った事がなかったので、行って来ました。車で距離はかなりありました。道も狭く大変でしたが、良い紅葉を見て来ました。

女房と一緒にいたのですが、来年は一人で行って、一泊して気合いを入れて写真を撮りたいというシチュエーションでした。

まだまだ行っていない所はたくさんありますので、どんどん行ってみたいと思います。

♪ 11月3日、結婚記念日でした。49年目です。11月16日は誕生日です。72才になります。ずいぶん大きな年になりました。

山田 利明

ニコニコボックス

合計 2,000 円

## ロータリーの友音読会



久保田英男 (職業分類:菓子製造販売)

専業主婦会員。学生の時から家庭関連の飲食業でキャリアを置く。現在は大学で外食・ホテル業界での就職を目指す学生たちに自分の経験を伝えている。僕の住む鎌倉のご当地ラーメンは「サンマーメン」。どんなラーメンかは、ぜひ、現地でお確かめください。

# テーマ: 異国生まれの日本育ち

新型コロナで中止や開催の形を変えていたお祭りなどが、少しずつ元の形に戻りつつあります。このままパンデミックが収束することを祈らずにはいられません。しかもこれから年末にかけては、楽しいイベントがめじろ押し。10月はハロウィーン、12月はクリスマス。では11月のイベントといえば何を思い浮かべますか？

### 外国生まれ日本育ち

いろいろな答えが返ってくると思いますが、やはり僕のような飲んべえには、ポージョレ・ヌーボー解禁。11月の第3木曜に解禁されるポージョレ・ヌーボーを世界でその年最初に飲めるのが、時差の関係でここ日本とい

うことになります。「初物」を好む文化とハロウィーンやクリスマスのようなイベント感覚を持つ日本では毎年ぎやかな声がか聞こえてきます。本場フランスでは、もっと盛り上がりつつあるのでは、と思ったらそうでもないようで、どうやらこのイベントは、海外にルーツを持つ日本のお祭りになったのではないかなあ、と感じる次第です。

それにしても、日本人が海外の食文化を寛容に受け入れ、それを独自の文化にしてしまう能力という技術はすごいと思う時があります。例えば、多くの人をとりこにしているラーメンの源は中華料理だと思っけていても、もはやそれは日本食。海外でも「RAMEN」を日本食として紹介しています。

そもそも江戸時代末期に開港した横浜、神戸などに外国人が移住し、日本に入ってきた中国の麺料理がルーツ。1910年、浅草に初めて日本人が経営する中華料理店「来々軒」が開店。その主カメニュー「南京そば」「支那そば」などと呼ばれたものがラーメンはじまりだといわれています。戦後、日清食品が世界初のインスタントラーメン(チキンラーメン)を発売し、外食だけでなく家庭でも食べられるようになりました。「ラーメン」という呼び名の由来は諸説あるのですが、「中華そば」ではなく「ラーメン」に定着したのは、この商品名の影響が大きかったといわれています。現代では日本各地にご当地ラーメンがあり、行列のできる有名店があり、専門誌まで発行され、さらにはミシュランの星を獲得するラーメン店も。皆さんにもお気に入りのお店があるのではないですか。

### 日本生まれ日本育ち

そうそう、洋食は洋食でも日本生まれの日本育ちの洋食をご存じですか？和製洋食の筆頭といえば、「とんかつ

つ」。19世紀の終わり頃、東京銀座の「煉瓦亭」に「ポークカツレツ」というメニューが登場します。

この料理の原点はフランス料理のコートレット、本来は仔牛肉を揚げ焼きにする料理ですが、豚肉を使用し天ぷらのように大量の油でからっと揚げ、野菜の代わりに千切りキャベツを添えて、日本人に受け入れられるようにアレンジされたものでした。

同じようなものにコロケがあります。これも元々はフランス料理のクロケット。今でいうクリームコロケです。乳製品の加工技術が普及していなかったため、ジャガイモを使い、これが大衆に支持されて一気に人気を博したようです。

お米を使ったグラタン料理、「ドリア」。これも真正正銘の日本生まれの洋食。1930年ころ横浜のホテルニューグランドの初代総料理長、サリー・ワイルが、宿泊客の要望から即興で考えた一品が始まり。同じくこのホテル発祥の「スパゲッティナポリタン」。名称からイタリア・ナポリ発祥と想像しますが、これも横浜生まれ。イタリアで食べたくても食べられませんよ。さらに「プリン・ア・ラ・モード」もここで考案されたもの。今でもホテルのコーヒーハウスで提供されています。

カレーライスも外来から国民食になった一つですが、「とんかつ」をトッピングした「カツカレー」なんてさらにその上を行く発想ですね。

戦後、巨人軍で活躍したプロ野球

選手の千葉茂さんは、カレーライスもカツレツも大好物。特にカツレツは勝負にカツ(勝)の験を担いで、試合前によく食べていたそう。ある日、「カレーライスにカツレツをのっけてくれ！」と注文し「カツカレー」が誕生したという逸話があります。野球にカレー、とんかつ。当時の子どもたちが憧れるような夢のある話です。もっともカツカレーの原型はそれより以前からあって、大正時代、浅草の洋食屋台でトンカツにカレーをかけた丼を提供していたそうです。屋号から取った「河金井」という名称で、今でも食べることができるようです。その他にも、「オムライス」「エビフライ」「中華丼」「天津飯」も日本生まれだとか。

料理だけではありません。意外な日本生まれの飲み物をご紹介します。それは「アイスコーヒー」。明治中頃、東京神田の氷店で「氷コーヒー」、大正時代には「冷やしコーヒー」の名でメニューに登場し、普及したといわれていますが、欧米では最近のアレンジコーヒーブームが来るまで冷たいコーヒーは一般的でなかったとか。

ハリウッド往年の名優、ポール・ニューマンが日本のインスタントコーヒーのCMに出演した際、初めて飲んだアイスコーヒーに驚いたそうです。そういえば僕もアメリカでアイスコーヒーって飲んだことなかったな。

伝統を守ることも大切ですが、新しい伝統をつくる、受け入れるという日本人の柔軟性も大切にしたいですね。